結果よりも過程の方が大事な理由：過程ｖｓ結果

スポーツやら勉強やらお仕事やら、あなたも「一番大事なのは結果」なんて言うような事を言われたり、耳にした事があるのではないでしょうか？

特にお仕事ではよく上司が部下に言う言葉だと思いますが、実際問題、一番大事なのは過程、結果に辿り着くまでの道のりが一番大事なのです。

何故なら、所詮、結果と言うのは運、そしてあなたがコントロール出来ない事が絡みがちだからです。

過程が完璧なのに、ただただ運が悪くて結果が残せない事もあるでしょうし、過程がゴミなのにただただ運が良くて結果が残せる場合があるでしょう。この場合、どちらを賞賛すべきなのでしょうか？過程が完璧な前者です。

何故なら、過程が完璧ならば長期的な視点で見て、その人は結果を残す可能性が高いわけですが、過程がゴミなら長期的には結果を残さない可能性が高いわけです。

全く勉強せずに、運良くテストで高得点を獲った所で、今後のテストの点数は高い確率で点数が下がるわけです。しかし、ちゃんとした方法で勉強したのに、運悪くそこまで高くない点を獲ってしまった人は、今後のテストでは高い確率で点数が上がるわけです。

ですから、過程を完璧にする事だけに集中して、長期的な視点であなたが行う事を継続すれば高い確率で結果は出ます。

ラッキーパンチ、ビギナーズラック、その場その場で乗り切ろうとする人は短期的には結果を残すかもしれません。しかし、それを嘲笑い、しっかりと過程を磨く事に力を注げば、長期的にはあなたが勝つ確率が高くなると言うわけです。

結果にコミット？何と浅はかなスローガン。

過程にコミットして、最後に笑いましょう。